

平野(鹿沼出身)メダル確定

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号

〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座 00180-4-623433

©下野新聞社2012

読者室 028-625-1179

(受付 月～金・午前10時～午後6時)

編集局 028-625-1121

販売 028-625-1120 (販売)

事業局 028-625-1134 (事業教育)

営業局 028-625-1133 (広告)

下野新聞社ホームページ

http://www.shimotsuke.co.jp/

電子号外

下野新聞購読お申し込みは
ダイヤル 0120-810081

携帯、スマホで紙面のニュースを!!

下野新聞 SOON

月額262円

下野新聞

検索

卓球女子団体

悲願の決勝進出

平野「神様応援してくれた」

女子団体準決勝で、福原愛(ANA)石川佳純(全農)平野早矢香(鹿沼市出身、ミキハウス)の日本が3-0で北京大会銀メダルのシンガポールに勝ち、決勝進出で銀メダル以上を確定した。五輪の卓球で日本のメダル獲得は初めて。7日の決勝で中国-韓国の勝者と対戦する。



シンガポールを破って決勝進出を決め、石川(左)と喜ぶ平野=エクセル



日本-シンガポール 3番手で出場し、ポイントを奪いガッツポーズの平野(右)、石川組

ダブルスで日本の勝利を決めた石川と平野が強く抱き合う。ベンチで見届けた福原は村上監督の胸に飛び込んだ。全員がうれし涙を流し、そして笑った。

女子団体準決勝で北京五輪銀メダルのシンガポールを破り、卓球で男女を通じて初のメダルが銀以上で確定。3度目の五輪で悲願を達成した福原は「ここまで長かった。自分一人だったらとくに諦めていた」と仲間への支えに感謝した。第1試合の福原がフェン

・ティアンウェイとのエース対決を制し、勢いをつけた。今大会のシンガルスで石川を退けて銅メダルを手にしたフェンは、過去4年間の対戦で1勝8敗と苦手だったが、ラリーでつないでミスをつた。第2ゲームまで連取。「集中力の戦いだと思った」と、第3ゲームを落としても1球ずつ粘り、第4ゲームは11-9で競り勝った。

19歳の石川もワン・ユエグにストレート勝ち。ダブルスでも石川のサーブで崩して平野が決める連係が決まった。石川は「2人の先輩が声を掛けてくれて、のびのびとプレーできた」と涙をぬぐい、27歳の平野も「必死にボールに食らい付いた。2人には感謝しかない」と後輩たちへの思いを口にした。

平野早矢香の話 2人に感謝したい。3人とも一つの気持ちで向かって戦うことができた。愛ちゃんがチームの流れをつくってくれた。卓球の神様が応援してくれた。

